

2025年度 前期授業 「体験型プロジェクト(FE)」 社会課題とビジネス

狙い:

地元の様々な企業への訪問を通して、
社会課題とビジネスの関わりについて理解を深める。

□ ブラザーミュージアム	4月15日
□ ホンダカーズ東海 南陽店	5月20日
□ JICA中部	6月3日
□ axona AICHI 春日井工場	6月17日
□ 矢橋ホールディングス	7月8日
□ 福玉ロジスティクス	7月15日

□ 企業概要

- 本社： 名古屋市
- 主な事業
 - プリンター・産業機械・マシンなどの製造販売



□ 訪問の着目点

- 事業の変遷
 - 時代に合わせて事業の拡充、事業転換を進めて来た。
- 失敗作の展示
 - 失敗した製品でも、後のヒット商品の基礎になった場合があった。
 - 組織文化： 失敗作におおらかな企業文化

ブラザーミュージアム

「体験型プロジェクト」
実際に見て・聞いて・感じ・考える
名経流の学び！



ミシンの仕組み

- ・創業の基礎となったミシンの歴史の歴史ゾーンを見学。
- ・上糸と下糸がどのように組み合わせられて縫うことができるかの説明。



失敗経験の活用

- ・通信を利用したパソコンソフト販売機の失敗(1986年)
- ・その技術を活用したJOYSOUND (通信カラオケシステム、1992年～)



現在の主力製品

- ・プリンター・複合機、産業用プリンター、産業用機器などを見学。

□会社概要

- 本社： 名古屋市
- ホンダの正規カーディーラー
 - － 愛知県・岐阜県中心に展開

□着目点

- スtock型ビジネス
 - － 日々の新車販売(フロー)よりも、今までに販売して来た既存顧客(ストック)へのサービスに注力。
 - － 粗利の半分が既存顧客へのアフターサービス・保険収入のため、事業が安定。
- 店内のDX推進
 - － 顧客対応の質を上げるためにDX化を推進。



ホンダカーズ東海 南陽店

「体験型プロジェクト」
実際に見て・聞いて・感じ・考える
名経流の学び！



ストック型ビジネスモデルの説明

- ・粗利(売上高総利益)は、新車販売よりも、今まで購入して頂いたクルマの保守や保険の方が大きい。
- ・フロー(日々のクルマ販売)よりもストック(今までに購入していただいたお客様)へのサポートを重視
- ・そのため各種の仕組み・工夫。



お客様に対応するシステムの説明

- ・ナンバープレート自動認識
- ・説明資料のタブレット化



サービスセンターの見学

□概要

- JICA(独立行政法人国際協力機構)は、我が国の開発協力大綱のもと、人間の安全保障と質の高い成長を実現することをミッションとする。

□JICA中部にある「なごや地球ひろば」

- 名古屋市中村区ささしまライブ24地区に設立された、国際協力をさまざまなアングルから楽しんで体感できる施設。
- 国際協力をテーマに、世界や開発途上国の現状や抱えている問題を、体験型の展示を通じて学習ができる「体験ゾーン」、市民が活動できる「活動ゾーン(セミナールーム)」などを備え、“世界のいま”を学ぶことができる。

着目点と事後学習

参加学生は、なごや地球ひろばへの訪問を通じて、世界の現状を知り、自分たちにできる国際協力、とりわけSDGsへの貢献等を学んで振返りのプレゼンを行いました。



□企業概要

- ・本社：名古屋市、主力工場：春日井市

□主な事業（製造販売）

- ・教育施設家具
- ・会館・庁舎・体育館などの公共施設家具
- ・ホテル・劇場・ホールなどの民間施設家具



本学犬山キャンパス1号館で使われている axona AICHI 製の椅子・机。

□着目点

- ・時代の変化に合わせて主力商品が変遷
- ・約200名の中堅企業であるが、スタッキングチェアを中心に海外販売にも力を入れている。

axona AICHI (愛知株式会社)

「体験型プロジェクト」
実際に見て・聞いて・感じ・考える
名経流の学び！



工場見学

- ・スタッキングチェアが完成するまでの行程や品質管理を見学



ショールームでの説明

- ・時代の変化と主力商品の変遷
- ・海外進出の課題、海外進出で得られた学び
- ・再生原料の利用



□企業概要

- 本社： 岐阜県大垣市
- 主な事業： 住宅の設計・施工・販売、石灰石の採掘、金属加工など。
- 本学卒業生が数多く活躍。

□着目点

- 2000年からベトナム進出。
 - 石灰石採掘、国内向け住宅図面のCADデータ作成。
- 多文化共生
 - 国内事業で10ヶ国の外国人正社員が従事し、事業の活力となっている。
 - 多文化共生館内にある社員食堂では、多国籍料理を提供。

矢橋ホールディングス

「体験型プロジェクト」
実際に見て・聞いて・感じ・考える
名経流の学び！



矢橋龍宜(たつよし)会長の講話

- ・経営理念(人間探求)
- ・2000年からの海外進出
- ・多文化共生の取組みと意義



住宅建設用木材の加工工場を見学



矢橋ホールディングス

「体験型プロジェクト」
実際に見て・聞いて・感じ・考える
名経流の学び！



本学卒業生との交流

・ダンノックフンさん

(2019年3月経営学部卒)

海外部門

・レフィンチャムさん

(2022年3月法学部卒)

鋼材事業本部営業



社員食堂の運営では九渡(くどう)さんが活躍(管理栄養学科2022年3月卒業)



多文化共生館内の社員食堂で多国籍料理のランチを体験

□企業概要

- 本社： 愛知県大口町
- エイディオンやアルペンなどの物流センターを運営。
- 本学卒業生が数多く活躍。



□着目点

- 物流センターの仕組み
 - 中部圏のエイディオン店舗への多品種小ロット納入の流れ
- 女性従業員を活用するための仕組み
 - 機械化と人事制度の見直し



倉庫内で物流センターの仕組みを見学

・各メーカーからの入荷、保管、仕訳、東海エリア
の各店舗への出荷、などの各段階の流れ。



エイディオンの物流センター(外観)

「体験型プロジェクト」

実際に見て・聞いて・感じ・考える
名経流の学び！